

授業改善研修会 総合的な学習の時間

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局

義務教育課 教科指導係

本日の内容

- 1 群馬県教育ビジョンと令和7年度学校教育の指針
～「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」～
- 2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景
- 3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を
具現化するために～本単元を基に～

本日のまとめ

○生徒の探究の方向性や具体的な考えの変容を想定しておき、
生徒の考えを大切にしながら一緒に探究しましょう。

群馬県教育ビジョン

自分事化

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

《 取り入れたい場面 》



ポイント

探究意欲（ワクワク感）を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

総合的な学習（探究）の時間

総合的な学習（探究）の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。



体験や交流を通して課題を見いだす場面



仲間とともに考える場面



探究してきたことをアウトプットする場面

エージェンシーを発揮する

「自律した学習者」へ

～群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）の実現に向けて～

地元教育機関から高等学校まで、全ての学校段階で取り組みます。

自分事化とは、自分自身の学びや生活の課題を自ら設定し、自ら解決しようとする姿勢のことです。

エージェンシーとは、自分が主体的に行動し、周囲の状況に合わせて柔軟に対応する力のことです。

自分事化とエージェンシーは、互いに補完し合うことで、自律した学習者を育てることができます。

共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

幼稚園・小学校・中学校・高等学校の各段階で、自分事化とエージェンシーを育てるための実践を推進します。

エージェンシーを発揮する（自律した学習者）

小学校：自分事化の基礎を築く。エージェンシーの芽を育てる。

中学校：自分事化を深める。エージェンシーを育てる。

高等学校：自分事化を定着させる。エージェンシーを育てる。

実践的な学習（探究）の時間

総合的な学習（探究）の時間は、実社会や実生活の課題を解決するための学びの場です。

探究意欲（ワクワク感）を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

令和6年3月 群馬県教育委員会
（エージェンシーを発揮するための学びを推進するリーフレット）

I 令和7年度学校教育の指針

～特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント～

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

総合的な学習の時間

- 最適解や納得解に向けて、多様な他者との関わりから自分の考えを確かにしている

各教科等の授業づくりのポイント

- ・探究課題との出会いの際に、現在の状況と理想の姿を時間軸・空間軸・立場軸で比較する活動を設定する。
- ・目的や相手を確認したり、考えを整理したりして、児童生徒を支えながら共に探究する姿勢を大切にする。

児童生徒が多様な他者と協働して

探究する授業になっていますか？



昨年度の取組（吉岡町立吉岡中学校）

追究する過程

職場体験を通して感じた「社会人に求められる力」を、他の事業所で体験した生徒が考える力と関連付けて話し合う活動を通して、「社会人に求められる力」の捉えを広げた。



各教科等で特に現れてほしい子供の姿

総合的な学習の時間

- 最適解や納得解に向けて、多様な他者との関わりから自分の考えを確かにしている



各教科等の授業づくりのポイント

- ・探究課題との出会いの際に、現在の状況と理想の姿を時間軸・空間軸・立場軸で比較する活動を設定する
- ・目的や相手を確認したり、考えを整理したりして、児童生徒を支えながら共に探究する姿勢を大切にする。

2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査の結果
(総合的な学習の時間) -質問調査版-より (一部抜粋)

明らかとなった課題

- 「課題の解決に向けて、友達や地域の人と進んで関わっている」ことについて肯定的な回答が70%を下回っており、他より低い傾向にある。



各教科等で特に現れてほしい子供の姿

総合的な学習の時間

- 最適解や納得解に向けて、多様な他者との関わりから自分の考えを確かにしている

2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開より

課題の設定で配慮する事項

- 人，社会，自然に直接関わる体験活動を重視し，学習対象との関わり方や出合わせ方などを工夫すること
- 事前に生徒の発達や興味・関心を適切に把握すること
- これまでの生徒の考えとの「ずれ」や「隔たり」，対象への「憧れ」や「可能性」を感じさせるように工夫すること

各教科等の授業づくりのポイント

- ・ 探究課題との出会いの際に、現在の状況と理想の姿を時間軸・空間軸・立場軸で比較する活動を設定する。
- ・ 目的や相手を確認したり、考えを整理したりして、生徒を支えることが大切に探究する。

「どうしてだろう？」

「思っていたのと違うぞ」

「やってみたい」

「□□のようにしたい」

「〇〇さんのようになりたい」



自分事化

2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

学習指導要領解説より（一部抜粋）

第7章 総合的な学習の時間の学習指導 第1節 学習指導の基本的な考え方 1 生徒主体性の重視

・・・例えば、生徒の主体性が発揮されている場面では、生徒が自ら変容していく姿を見守ることが大切である。また、生徒の取組が停滞したり迷ったりしている場面では、適切な指導が必要である。・・・

各教科等の授業づくりのポイント

- ・探究課題との出会いの際に、現在の状況と理想の姿を時間軸・空間軸・立場軸で比較する活動を設定する。
- ・目的や相手を確認したり、考えを整理したりして、児童生徒を支えながら共に探究する姿勢を大切にする。

自分事化

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

ために教師は何をしたらよいか

本日の授業では・・・

追究する過程

整理・分析

インタビューやアンケートから分かった働くことの意味を分類し、その特徴を話し合って働くことの意味を追求するための視点を見いだすことができた

対話
交流

自己
決定



試行
錯誤

「調べたことには、どのような共通点や相違点があるのかな」

「異なる職種でも「自分を成長させる」ということが共通しているから、大切なのだな」

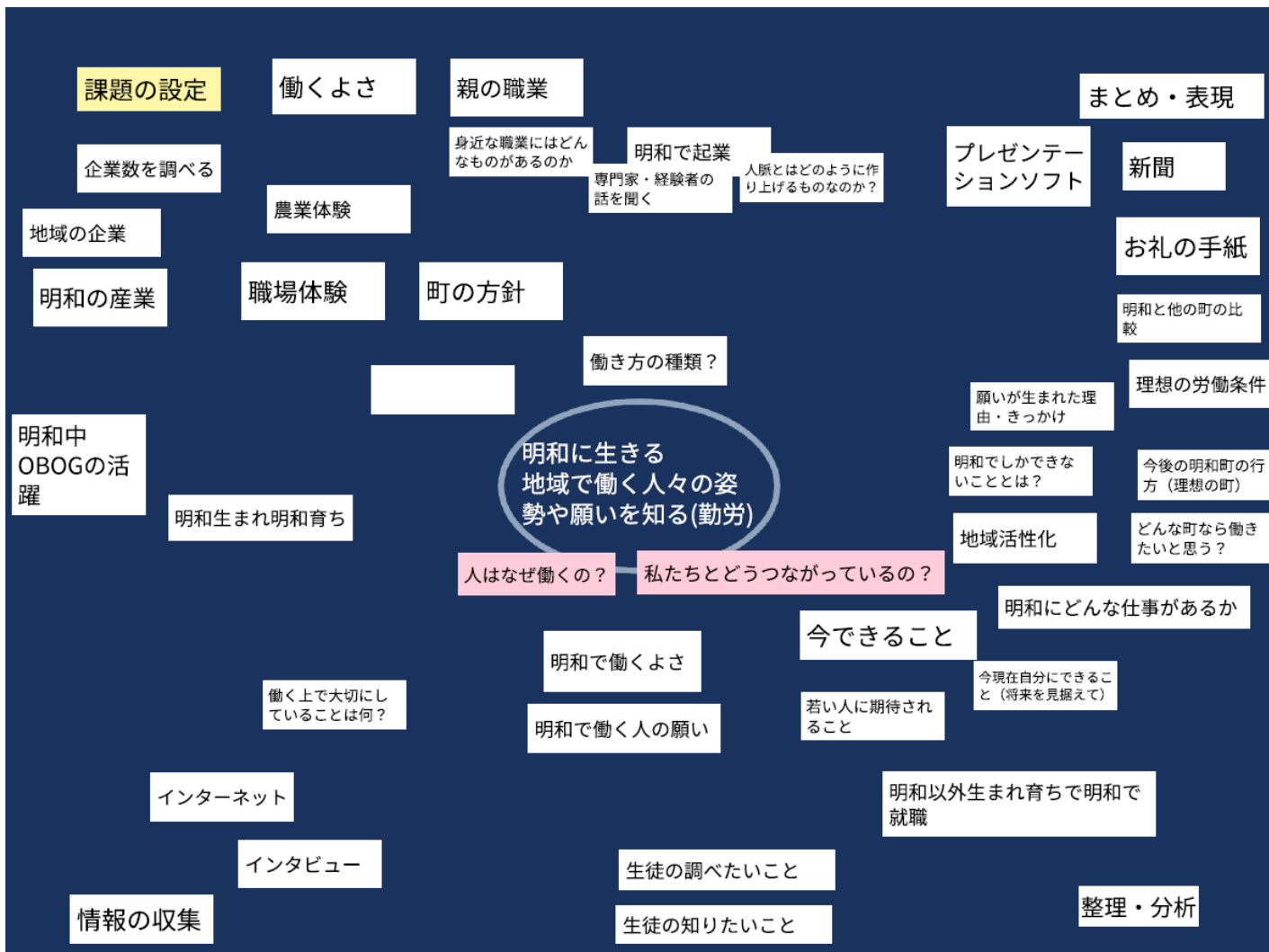
「働くことの意味は、自分自身のことと他者のことに分類できそうだな」

本時の姿が見られたのはどうしてか。
ポイントを解説します

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

単元の構想

全体計画を基に、生徒の実態や地域の特色を踏まえて、学習内容や学習対象を検討



他学年の職員とも単元を検討

- ・ 小学校の学習内容を踏まえて指導できるように、全体計画・年間指導計画等を共有（小中接続を意識）
- ・ 教師自身が明確な考えをもち、期待する学習の方向性や望ましい変容の姿を想定

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

つかむ過程

探究課題との出会い

- ・ 明和町の職業に関する現状について、**商工会議所の職員**の話を聞く機会を設定した
- ・ 働くことの意味を立場軸（**商工会議所の職員、友達、一般的な調査結果**）で比較する活動を設定した



「自分が思っていた働くことの意味とは違うな」
「働くことの意味を考えていきたいな」
「働くことの意味を考えた上で職場体験したいな」

ポイント

ゲストティーチャーとの事前の打合せ

- ・ 単元計画を共有
- ・ 「生徒の実態はどうか」「どのような思いを持たせたいか」など説明

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

生徒が考える「働くことの意味」の想定

自分を成長させる	家族を支える	地域や社会の課題を解決する
スキルや知識を高める	生活費を得る	商品やサービスを提供する
生きがいを見付ける	子供の習い事	人を笑顔にする
達成感を得る	進学費用	住みやすい町をつくる
趣味を続ける	将来への備え	未来を担う人材を育てる

ポイント

「自分の成長」「家族の幸せ」「地域貢献」等の教師が設定した視点で、生徒の意見を想定

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

生徒の考えを大切にしながら一緒に探究



自分の考えと比べてどうかな？

なぜこの分類にしたの？

関連していることはないかな？

ポイント

教師は子供と共に学ぶ学習者

働くことの意味やその分類を想定しておきながら、生徒の考えを大切にしながら、生徒と共に悩んだり、喜んだりしながら、一緒に解決策を考える姿勢

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

本日のまとめ

○生徒の探究の方向性や具体的な考えの変容を想定しておき、
生徒の考えを大切にしながら一緒に探究しましょう。

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために 3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

生徒が考える「働くことの意味」の想定

自分を成長させる	家族を支える	地域や社会の課題を解決する
スキルや知識を高める	生活費を得る	商品やサービスを提供する
生きがいを見付ける	子供の習い事	人を笑顔にする
達成感を得る	進学費用	住みやすい町をつくる
趣味を続ける	将来への備え	未来を担う人材を育てる

ポイント

「自分の成長」「家族の幸せ」「地域貢献」等の教師が設定した視点で、
生徒の意見を想定

生徒の考えを大切にしながら一緒に探究



自分の考えと比べてどうかな？

なぜこの分類にしたの？

関連していることはないかな？

ポイント

教師は子供と共に学ぶ学習者

働くことの意味やその分類を想定しておきながら、生徒の考えを大切にしながら、
生徒と共に悩んだり、喜んだりしながら、一緒に解決策を考える姿勢